

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-113481(P2012-113481A)

【公開日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2010-261299(P2010-261299)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/36 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/36 5 2 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月13日(2013.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

システムバスに接続され、バスマスタまたはバススレーブとして、アドレスによりデータの送受信を行うバスモジュールであって、

上記データを入出力するためのアドレスを制御するとともに上記アドレスのパリティチェックを行うアドレス制御部、

及び上記入出力するデータを制御するとともに上記データのパリティチェックを行うデータ制御部を備え、

上記バスマスタまたはバススレーブである場合、もしくは上記バスマスタ及びバススレーブのいずれでもない場合でかつ異常検出を行うことを要求された場合に、

上記システムバスから入力されるアドレスを上記アドレス制御部でパリティチェックするとともに、上記システムバスから入力されるデータを上記データ制御部でパリティチェックすることを特徴とするバスモジュール。

【請求項 2】

上記システムバスへ出力するアドレスをラッチする出力アドレスレジスタ、

上記システムバスから入力されるアドレスをラッチする入力アドレスレジスタ、

上記システムバスへ出力するデータをラッチする出力データレジスタ、

上記システムバスから入力されるデータをラッチする入力データレジスタを備え、

上記システムバスへのデータ送信時には、上記システムバスに出力した上記アドレスを上記システムバスから上記入力アドレスレジスタに取り込み、上記出力アドレスレジスタ及び上記入力アドレスレジスタの内容を上記アドレス制御部で比較するとともに、上記システムバスに出力したデータを上記システムバスから上記入力データレジスタに取り込み、上記出力データレジスタ及び上記入力データレジスタの内容を上記データ制御部で比較し、これらの比較で、一致しない場合に自バスモジュールのエラーを判定することを特徴とする請求項 1 記載のバスモジュール。

【請求項 3】

上記出力アドレスレジスタ、上記入力アドレスレジスタ、上記出力データレジスタ及び上記入力データレジスタの内容は他のバスモジュールから参照されるように構成されていることを特徴とする請求項 2 記載のバスモジュール。

【請求項 4】

請求項 1～請求項 3 のいずれか一項記載のバスモジュール、

及び上記バスマスタ及びバススレーブのいずれでもないバスモジュールに対し、異常検出を行うことを要求するシステムバス異常検出実行信号を有意にするバス調整部を備えたことを特徴とするバスシステム。

【請求項 5】

上記バス調整部は、上記システムバス異常検出実行信号を有意にするバスモジュールを固定するか、または任意にバスモジュールを選択できるように構成されていることを特徴とする請求項 4 記載のバスシステム。

【請求項 6】

上記システムバスには、複数のバスモジュールが接続され、

上記バス調整部は、いずれかの上記バスモジュールで異常が検出された場合に、上記各バスモジュールの健全性を確認するために上記各バスモジュールに対してアクセスを行うことを特徴とする請求項 4 または請求項 5 記載のバスシステム。